

高等学校 令和 6 年度 (1 学年用)

教科 : 家庭

科目 : 家庭総合

単位数 : 1 単位

対象学年組 : 第 1 学年

教科担当者 : (1組:濱田) (2組:濱田) (3組:濱田) (4組:杉山) (5組:杉山) (6組:山田) (7組:山田)

使用教科書 : 家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)

教科の目標 : 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する。

- 【知識及び技能】 人間の障害にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家庭・家族、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	1 単元名 単元1 18歳成人(生活設計)						
	【知識及び技能】 生涯を通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 生涯を通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 生活設計を工夫することができる。	【指導項目・内容】 ・18歳成年 ・ライフプラン	【思考力、判断力、表現力等】 生活設計を工夫しようとしている。	○	○	○	3
	【学びに向かう力、人間性等】 生活設計に主体的に取り組み、実践できる。		【学びに向かう力、人間性等】 生活設計に主体的に取り組み、実践しようとしている。				
1 学期	2 単元名 単元2 消費経済						
	【知識及び技能】 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫することができる。	【指導項目・内容】 ・消費生活と意思決定 ・購入と契約 ・多様化する支払い方法 ・消費者の権利と責任 ・さまざまな働き方 ・収入の把握	【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫しようとしている。	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】 消費生活の課題に主体的に取り組み、振り返って改善したりすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 消費生活の課題に主体的に取り組み、振り返って改善したりしようとしている。				
1 学期	3 単元名 単元3 持続可能な社会を目指す						
	【知識及び技能】 持続可能な消費について理解を深める。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 持続可能な消費について理解を深めようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルを工夫できる。	【指導項目・内容】 ・食生活の課題 ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全 ・日本と世界の食文化 ・食料自給率 ・食品ロス	【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、ライフスタイルを工夫しようとしている。	○	○	○	2
	【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会を目指して、主体的に行動したり、振り返って改善したりすることができる。		【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会を目指して、主体的に行動したり、振り返って改善したりしようとしている。				
2 学期	1 単元名 単元4 食生活						
	【知識及び技能】 食生活を取り巻く課題、栄養の特徴について理解している。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 食生活を取り巻く課題、栄養の特徴について理解しようとしている。				
	【思考力、判断力、表現力等】 健康及び環境に配慮した食生活について考察し、工夫することができる。	【指導項目・内容】 ・食生活の課題 ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全	【思考力、判断力、表現力等】 健康及び環境に配慮した食生活について考察し、工夫しようとしている。	○	○	○	16
	【学びに向かう力、人間性等】 食生活の改善に主体的に取り組み、実践できる。		【学びに向かう力、人間性等】 食生活の改善に主体的に取り組み、実践しようとしている。				

	単元の具体的な 指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 間
	1 単元名 単元5 住居						
3 学 期	【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題、住文化について理解を深める。	【使用教材】 個人端末、プリント	【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題、住文化について理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージと住環境に応じた住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活について考察し、工夫することができる。	【指導項目・内容】 ・住居の機能 ・平面図 ・物件情報	【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージと住環境に応じた住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活について考察し、工夫しようとしている。				
	【学びに向かう力、人間性等】 よりよい住生活に向けて、主体的に取り組み、実践できる。	・住居のバリアフリー・ユニバーサルデザイン ・住居の防災・安全な住生活 ・日本の住文化・世界の住居	【学びに向かう力、人間性等】 よりよい住生活に向けて、主体的に取り組み、実践しようとしている。				